

10月の 行事予定	16日(月) 宗祖命日	7時 永照寺本堂
	18日(水) 婦人会例会	13時 永照寺門徒会館

永代経法要

永代経法要、無事勤修させていただきました。9月16日から18日の3日間、宮崎の福永充証先生にご出講賜りました。

『永代経』とはお経の名前ではなく「永代読経」の略です。

永代に渡りお経が読まれ続けるようにという願いのもと行われる法要です。

先人のご苦勞により過去から受け継がれてきた教えを未来へと伝えていく決意をあらたにする意味もあります。

永照寺開基以来528年間、変わることなく読み続けたお経があります。

それは、浄土三部経『仏説無量寿経』『仏説観無量寿経』『仏説阿弥陀経』です。

「お経はどれも同じですか」「どのお経を読んでもいいのですか」とときどき受ける質問です。

どのお経もお釈迦様のお言葉ですから、大切にしなければなりません。

しかし、心臓病の方が胃薬を飲んでも快方に向かわないように

この時代、この私が救われていくお経は浄土三部経です。

この度の法要は昨年より多くの方が聴聞してくださいました。本当に有難うございました。

また、ご加勢くださった受付世話人の皆様、婦人会の皆様には厚く御礼申し上げます。

次回の法座は2024年1月14日～16日年頭初参会です。どうぞお参りくださいませ。



お寺の掲示板上には
住職前住職が「毎月」言葉を書いて、
通りがかりの人がメモをしたりしていますが
「意味を覚えてもらいたい」と、
たずねられることもありますので
この「お寺の掲示板」のコーナーで
お伝えしていきたいと思っております。

シワができ
耳遠くなり
視力は低下
順調に
歳を重ねて
敬老の日

〈掲示月〉2023年(令和5年)9月



寺報懇志御礼 小笠原 トキ子 様 甲木 マリ子 様

凡愚のつぶやき

お盆からお彼岸までの間、懇志に加えお野菜・お米をお供えくださり有難うございました。

お寺は「多くの方々の想い」に支えられているということを改めて実感いたしました。

過ごしやすい季節になりましたが、まだまだ不安な日々が続きます。

どうかお体ご自愛下さいませ。



お知らせ

- お経本は床に置かないでください。
- 住所が変更する場合は、恐れ入りますがお寺に届けてください。
- 最近では法事が土曜・日曜に集中しますので、早めに連絡頂ければ助かります。(特にお寺で法事をする場合)

永照寺

【開門・閉門の時間】

- 開門…6時30分
- 閉門…18時



行事予定やお参り・法要などの連絡事項は「ホームページ」にて随時更新しています。 離れて暮らすご家族にもオススメください。

ホームページに関してのご意見、ご希望、メールをお待ちしています。

<https://www.eishouji.or.jp/>

北九州 永照寺 🔍 検索



永照寺:住職のブログ【凡愚庵(ほんぐあん)】も
合わせてご覧いただければ幸いです。
左記のホームページ内に移転しました。



モバイルは
このマークをカメラで
読み込んでください。

お釈迦様は、「人生は苦である生・老・病・死の四苦を説かれました。
苦とは、思い通りにならな
いことです。
日常の老人の特徴、様子を
詠んだ、博多・聖福寺の禅僧の
仙涯さん(1750～183
7)の「老人六歌仙」に
しわがよる
ほくろができる 腰まがる
頭ははげる 髪白くなる
手はふるつ
足はよろける 歯はぬける
耳は聞こえず
目はつとくなる
身にそつは
頭巾襟巻 杖めがね
タンポ温石 しびん孫の手
くどくなる
気短になる 愚痴になる



タンポ温石(おんじやく)カイロ

でしゃばりたがる
世話やきたがる
どれも、つなずくことばか
りです。
一方、「老酒、老中、老師」と
いう言葉があるように、年齢
を重ねることによって醸し出
される味わい、智慧を認めて
います。
「敬老の日」老いを敬い、老
いを受け止め、いただいた「い
のち」を阿弥陀様のお慈悲の
中、過ごしてまいりましょつ。
私に、ふりかかる苦が
苦でありながら
光ながら